

黒河(くろこ)の会便り 第 28 号

◆カウントダウン

橋本市で初めての世界遺産登録を願ってカウントダウンの看板を立てました。場所は国道 370 号線賢堂点滅信号の交差点脇です。昨年の和歌山国体に使用した看板を伊都振興局から譲り受け、黒河道の看板として使用しています。ユネスコでの世界遺産登録審査会は 7 月 10 日～20 日の間に行われる予定ですが、決定日が確定できない為 見込みで「あと〇〇日」と表示しました。世界遺産への審査にめでたく登録されることを祈るのみです。



◆記念登山

黒河道が世界遺産に登録される時期に合わせ、高野七口再生保存会では黒河道記念登山を計画しています。笑っての登山になるか？悔しい登山になるか…?! 今のところ 7 月 17 日(日)を予定しています。詳しくは次号でお知らせします。

◆高野七口学「戦国武将と高野山」

しばらく休んでいた高野七口再生保存会主催の「高野七口学」が復活します。

- ・戦国武将と高野山奥ノ院 (講師：高野山大学図書館課長 木下浩良)
 - ・真田父子の高野山配流と幸村の九度山脱出 (講師 和歌山信愛女子短大講師 小山誉城)
- 場所：橋本市橋本地区公民館 (橋本商工会館 2 階)
 日時：5 月 28 日(土) 開場 13:00 時 講演 13:30～16:20
 受講料：500 円 定員：50 名(先着順)

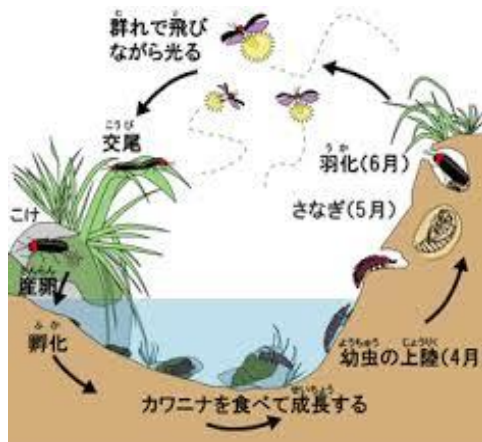


◆蛍の里

“ふるさとの山に桜をの会”(会長 上野剛敬)では黒河道起点の定福寺付近をホタルの里にしようと取り組んでいます。定福寺横の宮谷川(きやんたに)、宮谷池(てらのいけ)で源氏ホタルの飼育を始めました。既に紀見矢倉脇の根古川をホタルの名所にした、森脇 稔さんのご指導を頂き、宮谷池でカワナ(巻き貝)の養殖を始めています。ホタル幼虫はカワナを餌としていて、成虫になるまで 30 個も食べるとのこと。今年は森脇さんに幼虫かホタルの成虫を貰い受けて飼育を始める予定だそうです。



(雨で満水の宮谷池)



(ホタルの一生)



(幼虫の餌カワナ)

来年の 6 月には宮谷で育ったホタルが飛び交う宵を楽しみにしたいものです。